

会議報告書

件 名	第 10 回常滑市中学校制服のあり方検討委員会
実施日	令和 5 年 3 月 2 日（木）15 時 00 分から 17 時 00 分
場 所	市役所 3 階 委員会室
出席者	委員：青海中学校長、鬼崎中学校長、常滑中学校長、南陵中学校長 教頭会長、市 PTA 連絡協議会長、市 PTA 連絡協議会母親代表 市子どもを守る会連絡協議会長、教育長、教育委員 2 名 教育委員会：教育部長、学校教育課長、学校教育課付課長、 （事務局） 学校教育課主事 マスターメーカー：名古屋菅公学生服(株) 2 名

1 委員長あいさつ

皆様、ご多用の中、お集まりいただき誠にありがとうございます。さて、今回の検討委員会では、制服総選挙など児童生徒の投票結果をもとに、新しい制服の仕様について、協議を進めてまいります。

皆さんにご出席いただく本検討委員会は今回が最後となる予定です。新しい制服の完成に向けて、本日も皆さまからの多様なご意見をお聞かせいただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

2 議題

（１）制服総選挙実施結果

事務局：資料に基づき説明

委員長：投票結果について、ご質問やご不明な点はありますか。

委員全員：特になし。

委員長：原則は投票結果を尊重するということで確認する。ボトムスのデザインについては、タイプ A が得票率 40.4% で最多であった。小中分けてもどちらでも最多であったので、タイプ A 採用でもいいのではないか。これについては、異論はないか。

委員全員：異論なし。

委員長：ボトムスについてはタイプ A で決定する。

委員長：ボタンのデザインについては、タイプ 2 が得票率 43.7% で最多。

小中分けてもどちらでも最多であった。これについても、結果を尊重するということで、よろしいか。

委員全員：異論なし。

委員長：ボタンについてはタイプ 2 で決定する。

委員長：夏服の種類については、全体ではポロシャツが 38.4% で最多であった。小学校だけの最多はポロシャツ、中学校だけの最多はどちらでも可。ここを深く考えると話し合いが必要だと思う。

委員長：値段的には変わるのか。

菅公：ほぼ同じ。

委員長：色は白色、長袖・半袖どちらもいい。ここまでは決まっている。

委員 A：中学生は最近何かを選ぶときに、「どちらでもいいじゃん」という感覚になりつつある。どちらでも選べるというところで 1 位になったのではないか。投票結果をどのように受け止めるのか。他の項目で全体の最多をそのまま採用しているので、同じようにするほうがいいのでは。

委員 B：実際に着ている中学生の 1 位はどちらでも可。どちらでも可であれば、ポロシャツを選んだ小学生に不利益はないだろう。これが小学生ワイシャツ、中学生ポロシャツなどであったら厳しいだろうけど。どちらでも可でいいのではないか。

委員 C：どちらでも可がいいのではないか。家庭のことを考えると選択肢が多い方がいいと思う。

委員 D：多様性という観点で、どちらでも可がいいのではないか。

委員 F：学校現場で先生方が運用しやすいものの方がいいと思う。

委員 G：どちらでも可でいいのでは。

委員 H：家庭のことも考えると、どちらでも可がいいと思う。

委員 E：今の男子はワイシャツを持っているので、それも使えることを思うと、どちらでも可。

委員 I：どちらでも可。裾をインするかどうかなどのルールづくりを校則でしていけばいいかと。

委員 J：どちらでも可に反対するつもりはないが、個人的にはどちらかにきめた方がすっきりする。

委員長：皆さまのご意見を聞くと、どちらでも可にして選択肢を広げた方がいいという意見が多かった。ただし、校則でルールを決める。現在制服を着ている中学生の意見のどちらでも可を配慮した方が、小学生にも優しいのかと、皆さまの意見を聞いて思った。

委員 A：子どもへ伝える際に、今でてきた説明をきちんとしたうえでなら全然いいと思う。

委員長：中学校の意見を尊重し、夏服についてはどちらでも可で決定する。児童生徒へ伝える際には、十分な説明をする。

事務局：学校へ発表する際は、小中別の結果を示し、このような理由で中学校の意見を尊重したということがわかるようにしたい。

(2) エンブレムコンテスト実施結果

事務局：資料に基づき説明

委員長：結果について、ご質問やご不明な点はありますか。

委員全員：特になし。

委員長：得票率の最多で決定してよろしいか。

委員全員：異論なし。

委員長：生徒本人がデザインしたものを、プロの方が見栄えよく加工した

ということだが、本人がイメージと違うという意見があった際は修正していただけるのか。

菅公：もちろん可能。

委員長：原作者の思いを可能な限り実現したいので、是非お願いしたい。

事務局：全校の採用者へ一度確認する機会を設ける。

委員長：参加賞としてクリアファイル。最終3案まで残った生徒へはトートバック。採用された生徒には賞状と楯を準備している。

委員長：エンブレムについては全て各校1位のもので決定とする。

(3) ネクタイ・リボンデザイン投票実施結果

事務局：資料に基づき説明

菅公：デザインの説明（アンケート結果のイメージカラーを基に作成）

委員長：ご質問やご不明な点はありますか。

委員全員：特になし。

委員長：得票率の最多であったタイプ4で決定してよろしいか。

委員全員：異論なし。

委員長：ネクタイ・リボンのデザインについてはタイプ4で決定とする。

(4) 仕様書の内容検討

事務局：資料に基づき説明

菅公：仕様書の内容について説明

委員長：ご質問やご不明な点はありますか。

委員長：菅公以外のメーカーがこの仕様書を見たときに、製造が困難な項目はないか。

菅公：〇〇市や△△市などと同じタイプの仕様書になっている。そこに参入されているメーカーは慣れたもの。今回全く新規に参入するメーカーは最初少し苦戦する可能性はある。それ以外のメーカーは問題なく再現可能。

委員長：今回新規で参入されるであろうメーカーは、予想できるのか。

菅公：〇〇市や△△市で、制服業界での会社はほぼ集まっている。全く回新規で製造されるメーカーはほとんどないと思う。

委員長：これまで他の市町で、仕様書について困った事案が何かあったか。

菅公：仕様書に記載されていないことについては、やっていいと認識されるメーカーがあった。昔でいう変形学生服に似たようなもの。それは変形扱いなのでダメという対応をとった。

事務局：今までの制服よりも値段が高くならないようにということの中で、グレードを何パターンかつくれるようにという話もあった。この仕様書は従来の制服よりも高くならないで、複数のパターンができるようになっているのか。

菅公：なっている。

事務局：この仕様書をもとに菅公でも何パターンか作成できるのか。

菅公：可能である。〇〇市や□□市も同様の内容で、いろんなバリエーションが生まれている。

事務局：推奨素材として示されているだけなので、他の素材を使い混率を変えてグレードを作れるという理解でいいか。

菅公：その通り。

委員長：今の時点で、ざっくりとした点で構わないので、心配な点など委員の皆さまからはないか。

委員長：この場で詳細にチェックすることは不可能なので、事務局で詳細を確認したうえで、最終決定については事務局に任せてもいいか。

委員全員：異論なし。

委員長：最終決定については事務局に任せるということにする。委員の皆さまも何か気が付いたことがあれば、事務局へご連絡を。

委員長：標準服マークのデザインについて、この場で多数決をとり決定したい。

菅公：デザイン案について説明

委員全員：多数決にて最多だったものに決定

（５）仕様書説明会実施案

事務局：資料に基づき説明

委員長：実施案について、ご質問やご不明な点はありますか。

委員長：開催通知や仕様書公開の時期は、いつ頃を考えているか。

事務局：３月中を予定。できるだけ早く準備していく。

委員長：説明会の時間はどれくらいか。

菅公：質疑応答を含め２時間程度。

委員長：スムーズな新制服導入を目指し、常滑市では県内でも最早レベルである３月中の仕様書公開を目指してきた。

３ その他

事務局：早期採寸のお願いも含め、チラシなどで保護者に周知していこうと考えている。

事務局：今回をもって中学校制服のあり方検討は全て終了しました。それに伴い、「常滑市中学校制服のあり方検討委員会」設置要領第３条に基づき、委員の皆さまの任期も本日をもって満了となります。